

# 陸上運動部部便り

2005年10月号

箱根予選会

## 目次

1 箱根駅伝予選会	1
1.1 監督の言葉	1
1.2 長距離チーフの言葉	1
1.3 大学院駅伝主将の言葉	2
1.4 選手の言葉	2
1.5 試合結果	5
1.6 主務より	6
2 2005年度部内5傑 2005.10.26 現在	6

## 1 箱根駅伝予選会

### 1.1 監督の言葉

監督 八田秀雄

箱根駅伝予選会は10月22日立川昭和記念公園で行われました。公園外の道路スタートで3km地点から公園周回コースに入るコースで行われました。去年よりは起伏が増えることになりました。8時30分スタートで18度、暑くなく小雨で走るにはよい気象でした。今年は2・4年まで粒が揃い、チームとしての記録には期待ができました。また大学院チームが2年続けて出場できました。故障からなかなか回復できない松本は去年からすれば抑え気味、おそらくはちょうど良いペース。その分最後の落ち込みもなく、63分37秒総合166位。選抜チームで走るには厳しいですが、現状からいえばよくここまで持ってきたというのは率直のところでした。2番手は石原が最初少し気負いすぎと思われたが、後はまずまず。それを片岡が追い上げて部内3位。以下6位黒沢までが68分を切り、10位の村田でも69分台で、11時間13分24秒は、コースが難しくなったことを考慮すると、ある程度よく走ったと思います。この他主

務の木村君が走ったことも意義ありました。ただし部内上位が2、3年生で4年生が下位となったのは残念でもあります。大学院チームは田坂が65分47秒で1位。よく全体を引っ張って大学院チームを予選会に出し、また自分自身も6回予選会を走ってくれました。深瀬、春木も快走しました。こちらは練習量が足りないのは当然ですが、それでも一人も棄権できない状況で、11時間43分の結果を残せたのは良かったと思います。両チームとも結果は練習での状況がそのまま反映されています。やはり練習は嘘をつかないのが明らかでした。下級生の活躍が目立ったので次回にはさらに高いレベルを期待しますし、院生チームもまた出場できるよう願っています。

### 1.2 長距離チーフの言葉

長距離チーフ 中原健二

箱根駅伝予選会は今年も前年からコースが変わり、3年前と同じ昭和記念公園内周回コースで行われました。細かいアップダウンが多く記録が狙いにくいコースに変わったこともあり、目標の東大記録(H8年の10時間52分31秒)の更新は厳しい状況でした。結果はタイムとしては11時間13分24秒、関東インカレポイントを考慮すると11時間12分54秒で総合24位でした。目標に遠く届かないばかりか去年から順位を2つ落としてしまい、残念としか言いようがありません。チームとして実力を十分に発揮できたとは言いがたく、チーフとして4年生として悔いが残ります。しかし2、3年生がチーム内で上位を占めたことは来年以降につながると思います。新チーフの片岡の下、高い目標を立てて今回の反省点を一年後の予選会に活かしてくれると思っています。最後になりま

すが、当日朝早くから応援に駆けつけて下さった方々、また1年間お世話になった方々に御礼を申し上げます。ありがとうございました。

### 1.3 大学院駅伝主将の言葉

大学院駅伝主将 田坂和彦

昨年院生単独チームとして初出場を果たしたメンバーから3人が卒業されましたが、今年は参加標準を突破した11名を新メンバーにエントリーすることができました。アップダウンの多い難コース、小峰(M1)のケガによる出場断念などもあって、目標の11時間30分には届かず、昨年よりもタイム・順位共に落としましたが、2年連続出場・全員完走を果たしました。

主な対校戦への出場が制限される院生にとって、これまで関東インカレしか大きな目標は持ち得ませんでした。予選会への院生チームの出場は、関東インカレの標準に及ばない長距離部員にも競技継続の機会を与えています。また、今年予選会初出場を果たした本多(M1)のように、参加標準を切っていながらメンバーに入れなかった学部生にとっても、「大学院まで行けば予選会を走れる」と新たな目標となっていて、チームの底上げに寄与していると思います。今年出場したメンバーの内4人が卒業のためチームを離れますが、今後も院生チームが継続して出場し、さらに発展することを願っています。末筆ながら、一緒にグラウンドで練習してくれた学部生の皆さん、当日朝早くから応援に駆けつけてくれた院生の皆さん、学部チームと変わらぬ声援を送って下さったOB・OGの方々に感謝致します。

### 1.4 選手の言葉

松本 翔(2年)

去年に引き続いて予選会を走らせていただきましたが、今年は去年とまったく意味合いの異なる中で走った大会となりました。去年が日本人トップ集団について上位進出を目指す大会でだったのに比べ、今年は箱根駅伝で負った怪我のため1年間故障に苦しみ、チームのためになんとか出た、と

いうものです。ゆえにちゃんと走りきること、そして現状から判断した目安のタイムの64分20秒を上回ることを目標に走りました。結果は事前に練った計画や調整がうまくいったこと、そして何より、この大会に対する思い入れや皆様の応援といった心的なものが後押しをしたことで、上記のような結果を出すことが出来ました。去年と比べることは出来ませんが、しかしチームのために貢献できたのでよかったですと思っています。以後、少し休養して故障を完治させたいと思います。そして来年こそは、皆様に先頭集団で争う自分の姿を見せたいと思います。今後ともよろしく願います。

石原宏尚(2年)

作戦としては去年は最初に抑えて入り、そのままただらと走ってしまったので最初から攻めるというものでした。最初の5kmを15'49で入ったのはよかったのですが、公園内のアップダウンで走りのリズムが合わず、ペースはそこから少しずつ落ちていきました。それでもなんとか周囲の応援を励みに3'20/kmは切らずに走ることはできました。しかし、最後2キロくらいでやはりペースダウンしてしまい悔いの残るレースとなりました。また夏合宿以降脛や腰を痛めてしまい十分な練習を積みなかったことも反省しています。ただ、今回のレースでの目標は全然達成できませんでしたが、去年のタイムとこのコースでのタイムと比べて1分20秒くらい早かったので、力についてはきていると思います。今回の反省をもとに、冬は自分の弱点を強化してもっと強くなりたいです。具体的には関カレ標準を5000m,10000mでも切ることで。最後に応援とサポート等ありがとうございました。

片岡哲朗(3年)

よい練習ができていた夏合宿以降は予選会一本に照準をを合わせてきたものの、直前までなかなか調子が上がらず不安でした。そのため、1年前の予選会より1分速い66分20秒というタイムでゴールできて、ほっとしたというのが正直な感想です。前半10キロとラスト5キロはいいペースで走れましたが、中盤はややペースダウンしてしまった、というのは事後分析で、声援に包まれた

予選会独特の雰囲気の中無我夢中で走っていました。自分の個人成績では目指すべき上がいっぱいあり、チームとして24位というのも満足いくものではないので、来年に向けしっかり練習していきたいと思います。早朝から応援に駆けつけてくださった皆様、ありがとうございました。

#### 斉藤俊（2年）

10月に入ってから調子のよい状態が続いていたが、直前の疲労抜きがうまくいかずにやや不安を残したままスタートした。去年の反省を生かしてあまり抑えずに最初の5キロを入り、15キロまでは66分台を狙えるタイムで押していくことができた。しかしそれ以降は足が急に重くなってしまい、大きくペースダウンしたままゴールした。現状の力は出し切れたと思うが、まだアップダウンに対応できる脚力がついていないことを実感した。冬季練で課題を克服し、来年は個人としては65分を切り、チームでの東大新記録更新にも貢献したいと思う。

#### 岡田良平（3年）

ここ2週間ほど調子を落としていたものの、夏合宿から順調に練習を積んでいたの、良ければ1kmあたり3'15"、悪くても3'20"のペースで押していけるだろうと自信を持って臨みました。スタートしてしばらくは良いリズムで楽に走っていたものの、細かいアップダウンですぐに脚が重くなってしまい、5kmを16'25"ぐらいで通過した後はがむしゃらに気持ちで脚を進める事しかできませんでした。ゴールタイムは67'32"でチーム内5番手と非常に不本意な結果で、力不足、特に脚力の不足を痛感したレースでした。手厚いサポート、大きな声援に応える走りができず申し訳なく思います。あと1年間しかありませんが、個人・チーム共に結果を出せるように頑張っていきたいと思います。

#### 黒澤徹也（3年）

合宿で怪我をして、一時はどうなることかと不安になったが、選考会で11番手でなんとか滑りこむことができ、予選会を迎えることができました。最近調子が上がっていたが、当日は足が重かったのどにかくついていこうと思っていましたが、

走り出すと予選会の独特の雰囲気からか抑えられなくなり前にでました。しかし、7km付近で後ろに追いつかれるとそこからはズルズル後退してしまい、ラストもサポートできないままのゴールでした。反省すべき点は多々あると思いますが、去年とほぼ同じメンバーで臨んだ今年の予選会で去年11番目で終わった悔しさははらせた点は評価できると思います。ただ、満足できる結果でないこともたしかであるので来年に向けてしっかり練習をつんでいきたいです。最後になりましたがサポート・応援の皆様ありがとうございました。あの歓声の中で走れる喜びをかみしめるためにもこれから一年、頑張っていきたいと思います。

#### 中原健二（4年）

1年間、東大記録の更新を目標にやってきただけに今回の結果は残念で仕方ありません。レースは序盤から脚がつらく12キロ過ぎからずると落ちてしまいました。一年間を振り返ると前半はまだ調子は良かったものの後半は怪我や体調不良が重なり十分に練習ができていませんでした。4年間の中で一番重要なレースにピークをもってこられなかったことは悔いが残ります。来年度からも大学院で競技を続け、現役部員と共に競技力を向上し続けていきたいと思っています。応援・サポートの皆様、本当にありがとうございました。

#### 宮崎哲平（4年）

合宿で一度調子が上向きになったと思われましたが、その後疲労がなかなか抜けず、一橋戦・京大戦と同じような調子になってしまったと思います。自分自身が今年全く良いところがなかったことは心残りですが、後輩は今年1年で非常に力をつけてきたので、来年にはぜひ今年を大きく上回る記録を残して欲しいと思います。非常に多くの方の応援の中で走らせてもらい、改めて自分が多くの方々の支えがあって競技を続けてこられたのだと思いました。これからはOBとして後輩の活躍を見守っていきたいと思います。ありがとうございました。

#### 千島悠司（3年）

学内選考会以降、調子はあがってはいたのですが、入りの5キロで疲れてしまい、加えてアップ

ダウンに耐えられる脚もできていなかったため、ずるずると後退し、不本意なタイムで終わってしまいました。たくさんの応援をいただいたのにそれに応えられなくてとても悔しいです。この悔しさを忘れずに残りの1年間を大切に過ごしたいと思います。

村田拓哉（4年）

今年は去年の失敗を生かして前半から積極的な走りをして、最初の5kmはほぼ予定通りの走りでした。しかしその後はずるずるとペースが落ちてしまい、結果としては部内10番目でタイムも去年と比べても1分30秒以上遅くなるなど、現役最後のレースとしては大変悔しいものとなりました。このままでは終われないので、ぜひ来年も大学院チームとして走りたいと思います。最後にですが、応援していただいた先輩の方々ありがとうございました。

木村栄三（4年）

4年生の最後の最後で、初めて箱根駅伝予選会に出場させていただきました。当日は、OB・OGの皆様をはじめ、多くの方々に応援していただきまして、誠にありがとうございました。70分を切り、チーム10位以内でゴールすることを目指していたので、いまひとつの結果でしたが、練習の成果を十分に発揮することができました。4年間を振り返ってみると、貧血に苦しみ、なかなか結果を残すことができなかったこともありますが、箱根駅伝予選会出場という形で締めくくることができ、本当に良かったと思います。

稲垣誠（4年）

レース前からまったく調子が上がらず、不安を残したままの出場になってしまいました。当日の集中力を信じてレースをスタートしましたが最初からどうしようもなく、昨年よりも3分も遅い73分という結果になってしまいました。4年生という立場でありながら、こういった結果となってしまう、長距離部員や応援をしてくださっているOBの方々に対して本当に申し訳なく思っています。補欠との交代も含めてもっとチームのことを考えるべきだったと後悔しています。ふがいない姿にもかかわらず最後まで応援ただいて本当にあり

がありがとうございました。

田坂和彦（M2）

故障により今シーズン前半のスピード練習が十分でなかったため、持ち前のスタミナを活かし切れず、個人の目標としていた65分にも届きませんでした。しかし、今年は学部生の夏合宿にも一部参加するなど、学生最後の一年としてやれることは全てやった結果なので悔いはありません。大学院でも一緒に競技をしてくれる同志がいたこと、6回も予選会という舞台を走らせて頂いたことを大変嬉しく思います。本当にありがとうございました。

深瀬 剛正（M1）

今年1年は一人で練習することが多かったのですが、院生チームとして予選会を走るんだという目標があったので継続して練習できました。忙しい中頑張っている他の院生メンバーや、去年より一段と強くなった後輩達の存在はとても励みになりました。来年も10人が揃いそうなので、個人として、そしてチームとしてもいい結果を出せるように頑張りたいです。当日は朝早くからの応援、サポートありがとうございました。

春木洋輔（M1）

今の力を出し切る走りは出来ました。院チームとしてはタイム的な目標は達成出来ませんでした。去年に続き10人完走して記録を残せたことは本当に良かったと思います。応援ありがとうございました。

山崎智裕（D1）

今回の予選会は私にとって5回目の出場となります。昭和記念公園周回コースは過去2回走ったなじみのコースでありましたが、覚悟はしていたもののアップダウンの激しいコースに後半は苦しい走りを強いられました。つぶれることはなかったものの、結果は目標の67分を下回るものとなってしまい、悔いの残る結果となってしまいました。来年も大学院生チームが組まれることと思いますが、来年はもっと練習してよい走りをしたいと思っています。応援してくださったみなさん、本当にありがとうございました。

小山剛史 (D1)

応援してくださった方々、ありがとうございます。結果はよくないものでしたが、これが自分の走力の現状だと認識しています。来年も予選会に出場して、しっかりと走りを行います。

松崎孝大 (M2)

今回で最後の予選会となりましたが、思うような結果を残すことができなくて悔しいです。しかし、こうして院生になっても出場の手を離したことは良かったので、院生の仲間へ感謝したいです。来年以降の院生チームにも期待したいと思います。応援ありがとうございました。

高橋竜一 (M2)

なかなか練習時間が取れず、調子も上がらず不安も大きかっただけに、何とか完走出来て良かったと思います。今回の結果は個人的には合格点でした。しかし、一選手として客観的に考えれば、まだまだ改善すべき所は多いと思うので、来年はもっと上を目指して頑張ります。

笹原翔太 (M2)

予選会は昨年に引き続き2度目の出場でした。残念ながら昨年ほど練習をつむことが出来ず、記録を伸ばすことはできませんでした。ですが、当日は自分の持てる力を全て出し切ってベストの走りをする事ができたと思います。朝早い時間だったにもかかわらず応援に来て下さった多くの方々、本当にありがとうございました。

本多剛 (M1)

今回、僕にとっては学部時代から通じて初めてのとなる予選会の舞台に立たせていただきました。本来でしたら憧れの舞台で最高の結果を出すはずでしたが、怪我の出遅れから調子を上げることができないまま予選会を迎えることになってしまい、不本意な結果に終わってしまいました。個人としてだけでなく、院生チームの一員として足を引っ張る結果になってしまったことが残念でなりません。しかし、自分の様な者にもこのような大舞台に立たせていただけるチャンスをくださったことには感謝の気持ちでいっぱいです。この経験を必

ず来年にいかし、これからも院生チームが発展していくよう努力することで、みなさんに恩返しをしていきたいと思っております。朝早くから応援、サポートしてくださったOB・OGのみなさん、また現役部員のみなさん、本当にありがとうございました。

西村邦裕 (D3)

予選会で、本来であれば、昨年以上の走りをしたかったのですが、練習不足となってしまいました。しかし、皆さんの応援で、院生チームのタイムを残すことができ、最低限の役割を果たすことができました。応援、ありがとうございました。これまで9年間、院生として5年間、駒場のグラウンドで練習ができ、多くの試合に出場させていただく機会があり、そして、最後には予選会という舞台があり、走る事ができました。感謝しています。ありがとうございました。

## 1.5 試合結果

### 第82回箱根駅伝予選会

於 昭和記念公園 (H17.10.22)

総合順位		
順位	大学名	最終総合タイム
1	東洋大学	10 時間 10 分 17 秒
2	早稲田大学	10 時間 13 分 56 秒
3	國學院大學	10 時間 14 分 21 秒
4	山梨学院大学	10 時間 16 分 01 秒
5	大東文化大学	10 時間 17 分 05 秒
6	城西大学	10 時間 17 分 32 秒
7	国土館大学	10 時間 16 分 20 秒
8	明治大学	10 時間 16 分 41 秒
9	専修大学	10 時間 18 分 58 秒
以上が本戦出場		
10	拓殖大学	10 時間 19 分 41 秒
24	東京大学	11 時間 12 分 54 秒
31	東京大学大学院	11 時間 43 分 44 秒

### 個人順位

順位	名前	タイム
東京大学		
166	松本翔	63分37秒
239	石原宏尚	66分11秒
247	片岡哲朗	66分20秒
276	斉藤俊	67分22秒
286	岡田良平	67分33秒
298	黒澤徹也	67分57秒
300	中原健二	68分04秒
303	宮崎哲平	68分09秒
317	千島悠司	68分46秒
333	村田拓哉	69分25秒
11時間13分24秒		
368	木村栄三	71分40秒
388	稲垣誠	73分02秒
東大院		
232	田坂和彦	65分48秒
237	深瀬剛正	66分02秒
289	春木洋輔	67分38秒
294	山崎智裕	67分49秒
313	小山剛史	68分39秒
342	松崎孝大	69分55秒
362	高橋竜一	71分10秒
402	笹原翔太	73分50秒
414	本田剛	75分07秒
439	西村邦裕	78分06秒
11時間43分54秒		

## 1.6 主務より

箱根予選会の応援に駆けつけてくださったOB・OGの方々を卒業年順に敬称略でご紹介いたします。小雨の舞う中、誠にありがとうございました。

1966年 土谷喬  
 1984年 渡辺吏  
 1988年 寺田秋夫  
 1995年 村上泰紀  
 1997年 近藤新吾  
 1997年 島田雅史  
 2001年 中台慎二  
 2001年 新妻拓弥  
 2002年 辻拓一郎  
 2003年 相原佑康

2003年 安達太一  
 2004年 岸田陽子  
 2004年 小笠原義之  
 2004年 熊丸拓郎  
 2005年 桑原明  
 2005年 藤田靖浩  
 (卒業年順、敬称略)

前回発行致しました京大戦部便りの中で、京大戦の応援に駆けつけてくださったOB・OGの方の一覧から1960年卒の高山弘先輩のお名前が漏れておりました。大変失礼を致しました。この場をお借りしてお詫び申し上げますとともに、訂正させていただきます。

東京大学陸上運動部学生主務  
 木村栄三

## 2 2005年度部内5傑 2005.10.26 現在

### 男子 100m

1	米田 武史 (4年)	10"78(+1.7)	6.19
2	瀧山 健 (3年)	11"09(+1.8)	4.30
3	藤本 元太 (2年)	11"16(+1.3)	6.26
4	斉藤 拓海 (1年)	11"23(±0.0)	7.30
5	相川 啓佑 (3年)	11"23(+1.4)	9.3

### 男子 200m

1	米田 武史 (4年)	22"10(-1.0)	6.19
2	瀧山 健 (3年)	22"5(+0.3)	4.3
3	今村 岳 (2年)	22"91(+1.0)	5.21
4	沖田 朋憲 (2年)	23"47(+0.9)	4.23

### 男子 400m

1	沖田 朋憲 (2年)	50"58	4.9
2	田中 佑貴 (4年)	51"41	5.21
3	今村 岳 (2年)	51"74	9.3
4	小澤 聡 (2年)	52"29	5.21

### 男子 800m

1	村井 昂志 (4年)	1'55"8	4.29
2	新井 邦生 (3年)	1'56"07	9.24
3	庄司 一郎 (4年)	1'56"98	7.31
4	割沢 高行 (3年)	1'59"94	4.9
5	黒澤 徹也 (3年)	2'00"77	6.19

## 男子 1500m

1	新井 邦生 (3年)	3'58"88	4.30
2	庄司 一郎 (4年)	4'04"63	9.3
3	斎藤 俊 (2年)	4'05"39	7.31
4	月崎 竜童 (2年)	4'07"34	5.21
5	割沢 高行 (3年)	4'08"20	9.3

## 男子 5000m

1	新井邦生 (3年)	15'14"82	10.23
2	松本 翔 (2年)	15'16"47	7.31
3	石原 宏尚 (2年)	15'22"41	5.29
4	中原 健二 (4年)	15'23"8	4.23
5	村田 拓哉 (4年)	15'37"3	7.9

## 男子 110mH

1	尾崎 翔 (1年)	15"05(-1.0)	7.31
2	田中 啓 (5年)	15"40(+1.8)	7.31
3	梅沢 啓 (3年)	15"53(± 0.0)	5.21
4	堀内 敦史 (1年)	19"38(± 0.0)	9.3

## 男子 400mH

1	伊勢田 明弘 (3年)	56"75	9.24
4	門脇 啓太 (1年)	60"89	9.24
3	坂田 裕輔 (3年)	61"04	5.21
4	平林 学 (2年)	61"13	7.10

## 男子 3000mSC

1	石原 宏尚 (2年)	9'24"8	7.31
2	岡田 良平 (3年)	9'50"0	4.29
3	月崎 竜童 (2年)	9'56"5	5.28
4	山口 健介 (5年)	10'04"86	6.19
5	稲垣 誠 (4年)	10'20"77	6.19

## 男子 10000mW

1	菅野 雄大 (2年)	51"49"06	9.25
2	深尾 宙彦 (3年)	52'26"54	5.8
3	北沢 太郎 (1年)	54'19"72	6.19

## 男子 走幅跳

1	尾崎 翔 (1年)	6m98	9.3
2	竹内 昌男 (3年)	6m93	4.30
3	相川 啓佑 (3年)	6m89	5.21
4	武安 光太郎 (1年)	6m73	9.17

## 男子 三段跳

1	佐野 太郎 (3年)	14m31	4.9
2	倉員 智瑛 (2年)	13m87	4.9
3	武安 光太郎 (1年)	13m42	7.31
4	林 盛 (3年)	12m21	5.21

## 男子 走高跳

1	田中 啓 (5年)	1m90	6.19
1	持永 新 (3年)	1m75	9.3
2	小福田 大輔 (1年)	1m65	7.31
3	木村 剛 (2年)	1m55	6.19

## 男子 棒高跳

1	大谷 真人 (1年)	4m00	6.19
2	持永 新 (3年)	3m70	4.23
3	木村 剛 (2年)	3m20	9.24

## 男子 砲丸投

1	小林 宗隆 (2年)	10m68	6.19
2	合田 隆彦 (3年)	10m57	7.31
3	持永 新 (3年)	10m37	4.29
4	庄司 宇 (2年)	10m17	4.2
5	関原 孝之 (2年)	9m99	4.2

## 男子 円盤投

1	合田 隆彦 (3年)	37m15	7.31
2	庄司 宇 (2年)	30m73	9.24
3	関原 孝之 (2年)	30m46	4.3
4	持永 新 (3年)	28m82	4.9
5	田上 遼 (3年)	27m72	7.31

## 男子 やり投

1	関原 孝之 (2年)	51m86	7.31
2	石井 仁也 (4年)	48m63	8.10
3	葉梨 輝 (1年)	41m88	9.3
4	田上 遼 (3年)	31m24	9.3

## 男子 ハンマー投

1	庄司 宇 (2年)	29m38	9.24
2	合田 隆彦 (3年)	29m36	9.24
3	小林 宗隆 (2年)	25m88	9.24

## 女子 100m

1	塩入 敦子 (5年)	12"91(+1.3)	7.31
2	小原 明恵 (3年)	13"02(+1.3)	7.31
3	堀越 彩香 (M2年)	13"58(+0.9)	7.30
4	倉員 麻奈実 (1年)	14"53(± 0.0)	9.24

## 女子 200m

1	小原 明恵 (3年)	27"51(+2.0)	6.19
2	堀越 彩香 (M2年)	28"27(+0.7)	6.19

## 女子 400m

1	塩入 敦子 (5年)	58"88	7.31
2	小原 明恵 (3年)	61"37	9.3
3	向田 恵 (3年)	65"01	9.3

## 女子 800m

1	目黒 亜由子 (M1年)	2'16"14	4.30
2	塩入 敦子 (5年)	2'21"33	7.31
3	向田 恵 (3年)	2'26"14	5.21
4	清水 里紗 (3年)	2'39"24	9.24
5	平野 茉来 (5年)	2'52"14	7.31

## 女子 1500m

1	向田 恵 (3年)	4'57"56	6.19
2	清水 理沙 (3年)	5'34"38	9.3

## 女子 3000m

1	向田 恵 (3年)	10'42"95	7.31
2	清水 理紗 (3年)	11'58"96	9.24

## 女子 400mH

1	塩入 敦子 (5年)	62"99	7.2
---	------------	-------	-----

## 女子 走高跳

1	倉員 真奈美 (1年)	1m35	7.31
2	本間 諒子 (2年)	1m25	7.31

## 女子 走幅跳

1	堀越 彩香 (M2年)	4m84(± 0.0)	7.30
2	本間 諒子 (2年)	4m72	5.21
3	小原 明恵 (3年)	4m70	7.31

## 女子 棒高跳

1	本間 諒子 (2年)	3m00	5.8
---	------------	------	-----

## 女子 砲丸投

1	倉員 真奈美 (1年)	7m70	9.24
2	本間 諒子 (2年)	7m23	7.31

文責 佐野太郎